



市の水道事業、今後の見込みと 県水値上げの影響は

村田 秀夫 (日本共産党)

問 市の水道事業の現状、収支状況や施設等の更新状況は。

答 令和5年度決算で約2億1千万円と概ね順調な純利益である。老朽化に伴う更新事業は増加しており、令和3年度から4年間で11億5千万円を実施している。

問 料金の見直しが検討されているが、今後の見込みや県営水道値上げの影響は。

答 料金収入は減少傾向にある一方で、物価高騰などで施設の更新費用の増加が見込まれる。県水の値上げで受水費は約6千万円の支出増が見込まれる。

問 市長に伺う。市民生活を考えるなら、有収率の改善や国、県に対して地下水の汲み上げ制限の緩和や政策的財政投入を要望する等、値上げ回避の努力を行うべきでは。

答 公営企業の立場としてできる限りのことを尽くしていく。さらには、県水受水率で何か協議できるか探っていく。国に対しても制度そのものの要望も行っていく必要があると考えている。



荒川の水害対策について

梁瀬 里司 (令和研究会)

問 令和元年の台風19号による洪水は、各地で被害が発生した。また荒川の増水により、本市でも内水氾濫が発生し、床上床下浸水など被害が発生した。

答 この時、本市近くの荒川堤防の水位がかなり上がり非常に危険な状態であったが、荒川堤防の強化は行わないのか。

問 荒川上流河川事務所において、堤防の改修は順次整備しており、令和6年本市に近い熊谷市久下地区において、堤防下段の盛り土工事を実施した。

答 本市に影響する堤防は大丈夫か。

問 堤防の工事は実施されていないが、今後実施する予定とのことである。

答 避難所におけるトイレの改修（学校屋外・体育館トイレ）

○公共施設エレベーター内に防災椅子の設置

○忍城おもてなし甲冑隊

○水城公園東側園地のトイレ

○ふるさと納税



子どもとすべての世代、 そして行田の未来のために

田中 和美 (公明党)

子育て支援、地域交流の補完環境、多世代交流創出ほか、多目的公園は必要と考える。

問 現門井球場は来年2025年開設50年を迎え、耐用年度となる。2027〜2033年度までが除却そして活用実施期間と予定しているが、防球ネットやポール等の地震に対する不安もある。早期に今後の方向性を示す時期にきているのではないか。

答 前倒しは考えていないが、保全管理に努めていく。

問 今後の活用に参考になればと紹介する。南池袋公園は「まちのリビング」とも呼ばれ、緑の芝生が広がりデッキや石段も広く老若男女多世代がくつろげ、防災複合施設も併設されている。現門井球場も指定避難所としての機能や適正な駐車場確保し、地の利も含め地域として広く市民や市外の方も集い愛される多目的公園となり得る可能性を秘めていると考えるが、どうか。

答 市にとっても地元にとっても有意義なものにしていく。

○その他の主な質問

○プレコンセプションケア